



炭酸ガスレーザーの性質と特徴

炭酸ガスレーザーは、皮膚に照射すると約99%は皮膚組織内の水分に吸収され、その時に発生する熱エネルギーが一瞬のうちに組織を気化・蒸散させます。また、組織周辺の血液は瞬間的に凝固するので、ほとんど出血することなく病変部を取り除くことができます。

炭酸ガスレーザーの適応

ホクロ、いぼ、色素性母斑、脂漏性角化症などが適応です。費用は1mmあたり通常1,000円、瞼の近くは難易度が高く2,000円になります。

1. 局所麻酔（減痛局所麻酔：別途500円）をして炭酸ガスレーザーを照射します。ホクロ（母斑）を*1回で取りきるためには、過度の照射を要し、その分傷痕が目立つこととなります。クリニックでは、傷痕を最小限にするために、最小限で照射し、ここにシミレーザーを追加照射（500円加算）して再発予防をしています。再発した場合には、シミレーザーやその部位を重点的にレーザー照射することで最小限の傷痕にできます。2回目の再発処置の費用は再診料+処置料です。3回目からは再診料だけとなります。
2. 治療部位に、抗生剤入りの軟膏を塗布して創傷被覆材（クリアヘッシブ）でカバーする場合と軟膏処置だけの場合があります。
3. 治療の当日からシャワー・洗顔は可能です。軟膏処置だけの場合は、その都度軟膏を塗布してください。テープの場合には、濡れた部位に乾いたタオルで押し当てて水分を取り除いてください。2-3日に1回の頻度で交換してください（2枚目の説明書を参考にしてください）。
4. 2週間は治療部位への化粧を避けてください。キズの治りが遅くなり、凹みの原因にもなります。
5. 約2週間で赤い肌が見えます。保湿を保ち、紫外線防止をしてください。このケアをおろそかにするとシミを生じます。なお、赤い肌が気になる方には、シミクリーム・紫外線予防クリーム・コンシーラの3種類が入ったスティックタイプのセルニュープラスDRHQコンシーラがお勧めです。必要な方は、スタッフにお尋ねください。
6. 傷跡は、少し凹んだ状態で治癒します。徐々に軽減してきますが、少しは残ります。元の病変が深いほどこの傾向が出ます。